

令和元年度 事業報告書

1. 助成事業

令和元年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額 2,325 万円を実施しました。令和元年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成 31 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、70 件の応募があり、選考委員会において、以下の 61 件の研究に対して助成を行うことを決定し、2,020 万円の助成を実施しました。

1	複合現実技術を用いた次世代骨盤手術支援ツールの開発 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 長谷井 嬢	500 千円
2	微小環境構築における S100 制御性がんの分子機構の解明 岡山大学病院 泌尿器科 医員 光井 洋介	350 千円
3	HMGB1 が癌性骨痛に与える影響と新規癌性骨痛治療の開拓 岡山大学病院 口腔外科 助教 奥井 達雄	270 千円
4	妊娠期の胎盤形成における炎症抑制因子 HRG の生理的調節機能の解析 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 勅使川原 匡	270 千円
5	CXCR4 阻害に着目した口腔癌の新規抗腫瘍血管治療の開発 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 河合 穂高	200 千円
6	含ホウ素機能性色素を基盤とした円偏光発光材料の開発 岡山大学大学院 自然科学研究科 助教 前田 千尋	400 千円
7	エキシプレックス/エキシマー有機円偏光発光色素の開発 岡山大学大学院 自然科学研究科 講師 高石 和人	350 千円
8	乳がん治療薬抵抗性獲得機構における NFYA の機能解明 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 岡田 宣宏	360 千円
9	抗酸化物質が免疫担当細胞に与える影響 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 増田 潤子	400 千円
10	G-CSF 刺激による好中球分化誘導シグナル伝達経路の解析 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 准教授 村上 宏	350 千円
11	平成 30 年 7 月西日本豪雨時の旭川洪水の流況解析と CCTV 画像を用いた STIV 解析による検証【特定テーマ】 岡山大学 環境理工学部 准教授 吉田 圭介	800 千円
12	板ガラスへのニオブ系光触媒の直接薄膜とセルフクリーニング特性評価 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 西本 俊介	400 千円
13	歴史的砂防施設「別所砂留」の持続可能な保存整備に向けた調査研究 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 樋口 輝久	350 千円
14	CNP/NPR2 シグナルを介した卵胞発育シグナルの解明 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 辻 岳人	400 千円
15	半田山南側斜面で発生した土砂災害を事例とした崩壊危険箇所と崩壊土砂量の詳細な推定法に関する研究【特定テーマ】 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授 鈴木 茂之	1,000 千円

16	植物共生細菌のメタノール走化性の機構と重要性の解明 岡山大学 資源植物科学研究所 准教授 谷 明生	360 千円
17	糖尿病によるつらい気もちの評価法の開発に関する研究 [※その他分野] 岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授 安藤 美華代	200 千円
18	難治性心不全患者に対する循環器看護師の意思決定支援モデルの開発 岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 名越 恵美	280 千円
19	超音波を用いた看護師による爪のアセスメント方法の開発 岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 佐々木 新介	280 千円
20	被災時における生活困窮者への情報提供と避難行動～2018 年岡山県豪雨災害の経験から～【特定テーマ】 岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 岩満 賢次	310 千円
21	妊娠期からの育児期の両親の睡眠と抑うつ・愛着の関連 岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 池田 理恵	280 千円
22	機械学習を用いた熱可塑性炭素繊維強化プラスチック溶着接合の強度・品質予測 岡山県立大学 情報工学部 助教 金崎 真人	300 千円
23	電力システムに対するスケーラブル制御器の開発 岡山県立大学 情報工学部 助教 泉 晋作	300 千円
24	ソフトウェア不具合箇所の自動特定技術の詳細化に関する研究 岡山県立大学 情報工学部 助教 天壽 聡介	250 千円
25	アバタ影コミュニケーションシステムを用いたインタラクション支援 岡山県立大学 情報工学部 准教授 石井 裕	250 千円
26	陶芸制作で共鳴する日米文化交流 岡山県立大学 デザイン学部 講師 作元 朋子	250 千円
27	展示空間の文脈を伝えるテキスタイルデザインの開発と提案 [※その他分野] 岡山県立大学 デザイン学部 助教 岡本 汐加	200 千円
28	木育玩具による遊びと子どもの発達への対応分析 [※その他分野] 岡山県立大学 デザイン学部 助教 林 秀紀	200 千円
29	宇宙から飛来する暗黒物質による散乱過程の理論的研究 岡山理科大学 理学部 講師 長尾 桂子	350 千円
30	スピン反転を利用した長寿命光電荷分離システムの創製 岡山理科大学 理学部 教授 満身 稔	350 千円
31	備前焼模様の材料科学的研究 岡山理科大学 工学部 教授 草野 圭弘	350 千円
32	AI による LP データを用いた定量的な危険度評価手法の開発【特定テーマ】 岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴	1,000 千円
33	血管機能に対する <i>Streptococcus</i> 属菌体毒素の影響：高血圧症の新規病態機序解明に向けて 岡山理科大学 獣医学部 助教 向田 昌司	320 千円
34	内向き整流性 K ⁺ チャネル遮断ペプチドの探索と作用の解明 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 岡田 誠剛	300 千円
35	運動は炎症性腸疾患を予防するポジティブ・アクションとなりうるか？ 倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 椎葉 大輔	300 千円
36	筋音図・筋電図を用いたアスリートの筋コンディションの定量評価 倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 枝松 千尋	300 千円
37	中国電力送電線への地磁気誘導電流の影響評価 吉備国際大学 農学部醸造学科 教授 橋本 久美子	300 千円
38	微細な水中漂流ごみを巻き込むように回収するクラゲ型ロボットの試作研究 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 細谷 和範	300 千円
39	生体深部の非侵襲・三次元・動的イメージングを実現する新規蛍光プローブの開発 津山工業高等専門学校 総合理工学科 助教 守友 博紀	350 千円

40	双方向可変剛性機構によるロボット義足に関する研究 津山工業高等専門学校 総合理工学科 助教 野中 撰護	300 千円
41	<i>Streptomyces cinnamonensis</i> ゲノム情報を利用した有用酵素の探索 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 グループリーダー 畑中 唯史	290 千円
42	栽培化により失われたトマトの短日性を支配する鍵遺伝子の解明 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 後藤 弘爾	290 千円
43	ヒトシトクロム P450 の遺伝子多型が薬物相互作用に及ぼす影響の予測 就実大学 薬学部 教授 丹羽 俊朗	350 千円
44	AGEs と相互作用する新規内在性起炎分子の同定と慢性炎症病態への寄与の解明 就実大学 薬学部 講師 渡邊 政博	300 千円
45	胎児期葉酸欠乏マウスにおける高次脳機能低下の発現メカニズムに関する研究 就実大学 薬学部 助教 吉川 弥里	250 千円
46	岡山県産黄ニラの抗酸化作用機序の解明 就実大学 薬学部 助教 川上 賀代子	200 千円
47	新しい細胞動態評価法でスクリーニングした抗腫瘍薬の応用 川崎医科大学 生化学教室 教授 山内 明	350 千円
48	小胞体ストレス応答転写因子の機能不全による糖尿病発症機序の解明 川崎医科大学 薬理学教室 助教 北風 圭介	300 千円
49	脾臓の形成過程における核内受容体 NR5A1 の機能解明 川崎医科大学 解剖学教室 教授 嶋 雄一	250 千円
50	活性酸素生成酵素 Nox の制御機構の破綻メカニズムの解明 川崎医科大学 生化学教室 助教 宮野 佳	200 千円
51	ATP/P2 受容体経路による糖尿病性腎臓病の新規進展機序の解明と治療法の開発 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 講師 城所 研吾	200 千円
52	腸内環境維持とコンディションに関する研究 ー外環境変化と腸内細菌叢の関連ー 川崎医療福祉大学 医療技術学部 准教授 松生 香里	450 千円
53	ロイシン代謝産物 HMB の抗炎症作用はがん細胞誘発性の炎症反応を抑制しうるか 川崎医療福祉大学 医療技術学部 講師 三宅 沙知	350 千円
54	高脂肪食餌性 dysbiosis は食物繊維摂取と運動で改善するか 川崎医療福祉大学 医療技術学部 助手 青木 孝文	250 千円
55	老化による筋力低下に対するステロイド類の影響の行動学的解析 川崎医療短期大学 医療介護福祉科 准教授 平口 鉄太郎	250 千円
56	水害・土砂災害を中心とした災害予防法制の研究～条例論を中心に【特定テーマ】 山陽学園大学 地域マネジメント学部 准教授 澤 俊晴	300 千円
57	ダウン症児における発話技報および言語理解促進に関する研究ー多層指導モデル MIM を用いた効果検証ー [※その他分野] 山陽学園大学 総合人間学部 准教授 上地 玲子	200 千円
58	味覚センサーおよびプレスマスを用いた食品の味および香りの立体的評価法の検討 美作大学短期大学部 栄養学科 教授 桑守 正範	300 千円
59	キンダートーネン（子供体操）運動学習効果の科学的検証および SECI モデルによるナレッジ・マネジメント導入に関する研究 [※その他分野] 中国学園大学 国際教養学部 准教授 佐々木 公之	200 千円
60	カルバペネム耐性細菌の駆除を目指したフェージ療法の開発 中国学園大学 現代生活学部 准教授 川野 光興	290 千円
61	新規ゲノム編集法によるアルポート症候群モデルラット作製と病態解析 重井医学研究所 分子遺伝部門 研究員 古家野 孝行	250 千円

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成 31 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、8 名の応募があり、選考委員会において、7 名の研究者に対して総額 150 万円の助成を行うことを決定しました。その後、1 名の海外渡航が取り消され助成金が返金されたため、今年度は以下の 6 名の研究者に対して 125 万円の助成を実施しました。

1	米国農村社会学会 2019 年度年次大会での研究発表・意見交換 岡山大学 環境理工学部 准教授 本田 恭子	250 千円
2	第 38 回米国ウイルス学会議に参加・研究発表 岡山大学 資源植物科学研究所 特別契約職員（助教） 佐藤 有希代	250 千円
3	国際放射線研究会議（ICRR2019）参加・成果発表 岡山大学 自然生命科学研究支援センター 教授 寺東 宏明	210 千円
4	アメリカ微生物学会総会 2019 に参加・研究発表 就実大学 薬学部 助教 山田 陽一	180 千円
5	The 16th IASSIDO（国際知的・発達障害学会）World Conference2019 への参加・研究発表 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 講師 三田 岳彦	180 千円
6	国際会議（SysToL' 19）に参加・研究発表 川崎医療福祉大学 医療技術学部 准教授 矢納 陽	180 千円

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、平成 30 年 9 月 15 日から 10 月 31 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、5 名の応募があり、選考委員会において、以下の 2 名の研究者に対して助成を行うことを決定し、総額 180 万円の助成を実施しました。

1	糖尿病腎症における基礎研究（糖尿病腎症における Dynamin related protein(Drp1)のミトコンドリアダイナミクス制御に関する研究） 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 非常勤研究員 三瀬 広記	900 千円
2	地盤構造物の設計におけるベイズ理論の応用 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 珠玖 隆行	900 千円

2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

令和元年度は、10件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の2名に決定しました。

高石 和人（岡山大学大学院 自然科学研究科 講師）

【研究題目】 「キラルナフトキノンの合成と光学特性スイッチング」

：平成29年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

佐藤 丈晴（岡山理科大学 生物地球学部 准教授）

【研究題目】 「防災気象情報基準を備えた雨量計システムの開発」

：平成30年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を実用化させ、優れた社会的功績を上げている

令和元年度優秀研究者賞受賞者には、表彰状と副賞（研究奨励金30万円）が贈呈されます。

また、令和元年度の事業費として実施された「平成30年度優秀研究者表彰事業」は、2名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、655千円を支出しました。

3. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額1,264千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式（令和元年5月30日）開催後と研究発表会（令和2年1月28日）開催後に、ANAクラウンプラザホテル岡山にて立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、1,141千円を支出しました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。令和元年度は、令和2年1月28日にANAクラウンプラザホテル岡山で開催しました。当日は90名が受講し、研究内容について様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の5名で、事業費としては、123千円を支出しました。

- 1 (平成30年度学術研究費助成)
「ニコチンによる口腔癌リンパ節転移の促進機構の解明とその阻害効果の検討」
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 准教授 伊原木 聡一郎
- 2 (平成30年度学術研究費助成)
「日常活動レベルの異なる対象者における筋音筋電センサの有効性に関する研究」
I P U・環太平洋大学 体育学部 准教授 早田 剛
- 3 (平成30年度学術研究費助成)
「岡山県内の障害者就労実態調査に基づく就労支援システムモデルの検討」
岡山大学 全学教育・学生支援機構 講師 池谷 航介
- 4 (平成30年度学術研究費助成)
「高精度氾濫解析と避難経路解析を組み合わせた防災シミュレーターの開発」
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 赤穂 良輔
- 5 (平成29年度長期間海外派遣滞在費助成)
「海外派遣滞在研究者の報告」
明海大学 歯学部（助成時：岡山大学病院 予防歯科） 講師 入江 浩一郎

(3) 事業報告書の作成

令和元年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書180部を作成しました。尚、この事業報告書の作成費は令和2年度予算により実施されます。

また、令和元年度の事業費として実施された「平成30年度事業報告書」作成費は、750千円となります。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理事

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤非常勤の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理事	千葉 喬三	非常勤	無	中国学園大学 学長	
理事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 名誉教授	
理事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 副学長	
理事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
常務理事	奥山 一典	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 取締役	

監事

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤非常勤の別	手当	現職名	備考
監事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所	
監事	中村 洋文	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部 経理課長	

評議員

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤非常勤の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 保健福祉学部 教授	
評議員	原田 育秀	非常勤	無	株式会社中国銀行 代表取締役専務	
評議員	北村 彰秀	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役	

(2) 職員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

職名	氏名	常勤非常勤の別	手当	担当事務	現職名	備考
職員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホールディングス 社員	
職員	本間 誠之	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホールディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	平成31年4月15日	・第1回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第2回	令和元年5月30日	・平成30年度事業報告及び付属明細書の承認の件 ・平成30年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・選考委員9名選任の件 ・第2回評議員会開催の件 ・令和元年度助成者決定の報告の件 ・銀行借入額決定の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した
第3回	令和元年6月20日	・理事長及び常務理事選任の件 ・第3回評議員会開催の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た
第4回	令和元年10月21日	・株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第5回	令和元年12月13日	・第4回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第6回	令和2年1月28日	・令和2年度事業計画承認の件 ・令和2年度収支予算承認の件 ・銀行借入の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された
第7回	令和2年3月16日	・第5回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第8回	令和2年3月30日	・常務理事選定の件 ・選考委員1名選任の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た

②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	令和元年5月30日	・監事1名選任の件 ・平成30年度事業報告及び付属明細書報告の件 ・平成30年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件 ・令和元年度助成者決定の報告の件 ・銀行借入額決定の件	承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
第2回	令和元年6月14日	・平成30年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・理事6名の選任の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た
第3回	令和元年6月27日	・評議員1名選任の件	書面で同意を得た
第4回	令和2年1月28日	・令和2年度事業計画承認の件 ・令和2年度収支予算承認の件 ・銀行借入の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された
第5回	令和2年3月23日	・評議員1名選任の件 ・理事1名選任の件	承認可決された 承認可決された

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

寄附目的	寄 附 者	領収金額(円)	備 考(受入日)
運用財産	大和証券 岡山支店	30,000	令和元年12月3日
運用財産	S M B C日興証券 岡山支店	10,000	令和元年12月6日
運用財産	三井住友銀行 岡山支店	10,000	令和元年12月6日
運用財産	山陰合同銀行 岡山支店	20,000	令和2年1月10日
運用財産	トマト銀行 岡山支店	10,000	令和元年12月20日
運用財産	みずほ証券 岡山支店	10,000	令和元年12月20日
合 計		80,000	

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の付属明細書

令和元年3月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の付属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

令和2年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (R2/3/31)	前 年 度 (H31/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,575,411	10,857,254	△ 5,281,843
流動資産合計	5,575,411	10,857,254	△ 5,281,843
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	661,984,000	708,717,000	△ 46,733,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	681,984,000	728,717,000	△ 46,733,000
(2)特定資産			
公益目的事業積立預金	8,312,975	0	8,312,975
特定資産合計	8,312,975	0	8,312,975
(3)その他固定資産			
什器備品	186,370	0	186,370
その他固定資産合計	186,370	0	186,370
固定資産合計	690,483,345	728,717,000	△ 38,233,655
資産合計	696,058,756	739,574,254	△ 43,515,498
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	69,300	739,584	△ 670,284
流動負債合計	69,300	739,584	△ 670,284
負債合計	69,300	739,584	△ 670,284
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	634,000,000	678,000,000	△ 44,000,000
投資有価証券	27,984,000	30,717,000	△ 2,733,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産運用益	8,312,975	0	8,312,975
指定正味財産合計	690,296,975	728,717,000	△ 38,420,025
(うち基本財産への充当額)	681,984,000	728,717,000	△ 46,733,000
(うち特定資産への充当額)	8,312,975	0	8,312,975
2. 一般正味財産	5,692,481	10,117,670	△ 4,425,189
正味財産合計	695,989,456	738,834,670	△ 42,845,214
負債及び正味財産合計	696,058,756	739,574,254	△ 43,515,498

正味財産増減計算書

平成31年4月1日 から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H31.4.1-R2.3.31)	昨年度 (H30.4.1-H31.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	609,000	609,000	0
基本財産受取利息	288	249	39
基本財産受取配当金	0	26,000,000	△ 26,000,000
基本財産受取配当金振替額	20,437,525	0	20,437,525
基本財産運用益計	21,046,813	26,609,249	△ 5,562,436
② 受取寄附金			
受取寄附金	80,000	200,000	△ 120,000
受取寄附金計	80,000	200,000	△ 120,000
③ 雑収益			
事業費返金	350,000	0	350,000
有価証券品貸料	1,392,939	0	1,392,939
受取利息	0	0	0
雑収益計	1,742,939	0	1,742,939
経常収益計	22,869,752	26,809,249	△ 3,939,497
(2) 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	23,250,000	22,600,000	650,000
表彰事業	655,836	335,100	320,736
会議費	1,264,048	1,217,174	46,874
印刷費	749,790	549,596	200,194
消耗品費	214,737	47,051	167,686
旅費交通費	40,000	50,000	△ 10,000
通信費	141,574	145,614	△ 4,040
雑費	0	100,000	△ 100,000
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
減価償却費	20,588	0	20,588
事業費計	26,816,573	25,524,535	1,292,038
② 管理費			
会議費	69,871	57,035	12,836
印刷費	0	1,026	△ 1,026
消耗品費	0	26,773	△ 26,773
事務手数料	75,193	92,172	△ 16,979
旅費交通費	76,170	18,200	57,970
通信費	5,313	1,320	3,993
雑費	100,000	100,000	0
租税公課	480	3,170	△ 2,690
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
減価償却費	1,083	0	1,083
支払利息	30,258	29,902	356
管理費計	478,368	449,598	28,770
経常費用計	27,294,941	25,974,133	1,320,808
当期経常増減額	△ 4,425,189	835,116	△ 5,260,305
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,425,189	835,116	△ 5,260,305
当期一般正味財産増減額	△ 4,425,189	835,116	△ 5,260,305
一般正味財産期首残高	10,117,670	9,282,554	835,116
一般正味財産期末残高	5,692,481	10,117,670	△ 4,425,189
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	△ 46,733,000	△ 115,868,000	69,135,000
基本財産受取配当金	28,750,500	0	28,750,500
一般正味財産への振替額	△ 20,437,525	0	△ 20,437,525
当期指定正味財産増減額	△ 38,420,025	△ 115,868,000	77,447,975
指定正味財産期首残高	728,717,000	844,585,000	△ 115,868,000
指定正味財産期末残高	690,296,975	728,717,000	△ 38,420,025
III 正味財産期末残高	695,989,456	738,834,670	△ 42,845,214

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日 から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和元年度 (H31.4.1-R2.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	578,550	30,450		609,000
基本財産受取利息	288	0		288
基本財産受取配当金	0	0		0
基本財産受取配当金振替額	19,000,000	1,437,525		20,437,525
基本財産運用益計	19,578,838	1,467,975		21,046,813
② 受取寄附金				
受取寄附金	80,000	0		80,000
受取寄附金計	80,000	0		80,000
③ 雑収益				
事業費返金	350,000	0		350,000
有価証券品貸料	1,392,939	0		1,392,939
雑収益計	1,742,939	0		1,742,939
経常収益計	21,401,777	1,467,975		22,869,752
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	23,250,000			23,250,000
表彰事業	655,836			655,836
会議費	1,264,048			1,264,048
印刷費	749,790			749,790
消耗品費	214,737			214,737
旅費交通費	40,000			40,000
通信費	141,574			141,574
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
減価償却費	20,588			20,588
事業費計	26,816,573	0		26,816,573
② 管理費				0
会議費		69,871		69,871
事務手数料		75,193		75,193
旅費交通費		76,170		76,170
通信費		5,313		5,313
雑費		100,000		100,000
租税公課		480		480
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
減価償却費		1,083		1,083
支払利息		30,258		30,258
管理費計	0	478,368		478,368
経常費用計	26,816,573	478,368		27,294,941
当期経常増減額	△ 5,414,796	989,607		△ 4,425,189
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,414,796	989,607		△ 4,425,189
当期一般正味財産増減額	△ 5,414,796	989,607		△ 4,425,189
一般正味財産期首残高	8,161,179	1,956,491		10,117,670
一般正味財産期末残高	2,746,383	2,946,098		5,692,481
II 指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	0	0		0
基本財産評価損	△ 44,396,350	△ 2,336,650		△ 46,733,000
基本財産受取配当金	27,312,975	1,437,525		28,750,500
一般正味財産への振替額	△ 19,000,000	△ 1,437,525		△ 20,437,525
当期指定正味財産増減額	△ 36,083,375	△ 2,336,650		△ 38,420,025
指定正味財産期首残高	692,262,175	36,454,825		728,717,000
指定正味財産期末残高	656,178,800	34,118,175		690,296,975
III 正味財産期末残高	658,925,183	37,064,273		695,989,456

財務諸表に対する注記

平成 31年4月1日 から令和2年3月31日 まで

1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

定率法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	708,717,000	0	46,733,000	661,984,000
小 計	728,717,000	0	46,733,000	681,984,000
特定資産				
公益目的事業積立預金	0	8,312,975	0	8,312,975
小 計	0	8,312,975	0	8,312,975
合 計	728,717,000	8,312,975	46,733,000	690,296,975

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額(評価損益)と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	661,984,000	661,984,000	0	0
小 計	681,984,000	681,984,000	0	0
特定資産				
公益目的事業積立預金	8,312,975	8,312,975	0	0
小 計	8,312,975	8,312,975	0	0
合 計	690,296,975	690,296,975	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
PC一式	208,041	21,671	186,370
合 計	208,041	21,671	186,370

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金振替額へ充当	19,000,000
管理費充当額	1,437,525
合 計	20,437,525

7. その他

該当はありません。

財産目録

令和2年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産				
	現金預金	普通預金 山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	106,333
		普通預金 中国銀行/奉還町支店	"	1,827,503
		普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	"	3,641,575
	現金預金合計			5,575,411
流動資産合計				5,575,411
2. 固定資産				
基本財産	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	27,984,000
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している。	20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	634,000,000
	基本財産合計			681,984,000
特定資産	公益目的事業積立預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	8,312,975
その他固定資産	什器備品	PC一式	共有財産であり、減価償却費の95%を事業の費用とし、残り5%は管理費の費用として使用している。	186,370
固定資産合計				690,483,345
資産合計				696,058,756
1. 流動負債				
	未払金	株式会社357に対する未払額	2019年ホームページ更新代未払い分として	69,300
流動負債合計				69,300
負債合計				69,300
正味財産				695,989,456